

# 会議結果報告書

1	会議名	戸別収集実験事業に関する説明会（幸町自治会・若松町幸自治会）
2	日時	令和6年12月15日（日）14:00～15:00
3	場所	高砂コミュニティセンター ホール1・2
4	出席者	（資源循環課）森岡課長補佐、八幡主事 （環境事業センター）富田所長 （幸町自治会・若松町幸自治会）参加人数：50人
5	内容	<p>資料に基づき、戸別収集実験事業に関する説明会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 資源物を戸別収集する予定はあるか。廃油などの資源物を不適正排出されて困っている。資源物も戸別収集にしてほしい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 戸別収集を本格的に実施する場合、資源物も含めて対象品目を検討していく必要があると考えている。他地域では、ごみ有料化で排出量が増えているプラスチック製容器包装類で問題が起きているといった声をいただいている。実験事業の結果を踏まえて、検討していく予定である。</li> </ul> </li> <li>● 戸別収集は、マンションやアパートの住民にとっては、メリットが無いように感じる。高齢化が進んでいるなか、マンションやアパートの住民も恩恵が受けられるような取り組みを行ってほしい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ マンションやアパートにお住まいの方で、ごみ出しが困難な高齢者や障がい者がいる世帯においては、安心まごころ収集を活用いただきたい。また、高齢化が進んでいる中で、安心まごころ収集の要件については見直していく必要があると考えている。</li> </ul> </li> <li>● 細い道を通り戸別収集を実施するのであれば、収集効率を考えると、他の品目も回収したらどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 複数の品目を一度に回収してしまうと、回収後に分別する必要性が生じる可能性があるため、分別収集を維持しながら戸別収集の実施を検討していく。</li> </ul> </li> <li>● 戸別収集を実施するにあたり、車両を増やすのであれば、複数の品目を回収できる車両を増やしてはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 実験事業は、燃やせるごみだけを対象としているが、その後の戸別収集の実施の検討の中で、対象品目やその収集方法について、検討していく予定である。</li> </ul> </li> <li>● ごみ有料化実施前の説明会において、焼却灰の再資源化に要する費用やごみ処理施設の整備に要する費用が必要であり、加えて戸別収集を実施すると多額の費用がかかるため戸別収集を棚上げすると説明があったと思うが、財源の目途が立ったということか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ごみ有料化とあわせて戸別収集を実施することを見送った理由としては、多額の費用がかかることの他、戸別収集に対する賛否が割れていたため、見送ることとし</li> </ul> </li> </ul>

た。本市の財政状況や戸別収集を実施した際に多額の費用がかかることに変わりない。これまで行ってきた戸別収集を実施した際にかかる費用の計算は、机上で計算であったが、実験事業を通して費用の再積算を行いたいと考えている。その後、戸別収集に対する賛否を改めてとりたいと考えている。

- 指定ごみ袋の使用方法についての説明が不足していたように感じたが、使用方法に変更はあるか。

→ 指定ごみ袋の使用方法は、変更はない。

- 11月に配布されたチラシから、指定ごみ袋の使用をやめて、容器などに入れると読めるが、認識は誤っているか。

→ 指定ごみ袋や透明・半透明の袋にごみを入れ、それらを容器などに入れて出していきたい。

- マンションの1階に店舗がいくつか入っており、店舗専用の折り畳み式のボックスを設置し、店舗の方が黄色の指定ごみ袋を使用してごみ出しをしているが、4月1日以降はどうなるか。

→ 事業者は、市のごみ処理を希望する場合「事業系一般廃棄物の収集運搬及び処分に関する申出書」を提出していただく。排出場所については、管理会社等と調整していただくよう案内をしている。なお、事業者が使用するのは、緑色の指定ごみ袋である。

- 管理しているマンションでは、住民が使用する折り畳み式のボックスと店舗が使用する折り畳み式のボックスがあり、住民が使用する折り畳み式のボックスには店舗から出たごみを入れてはいけないこととしている。店舗の排出場所は、市に申請をしなければならないか。

→ そのとおりである。管理会社等と排出場所について、調整をしていただいた後、市に申請していただきたい。

- 実験事業期間中に収集する時間に変更される場合、周知は予定しているか。

→ 実験事業期間中の収集時間は、変更する予定はないため、開始して数週間でおおよその収集時間が確定すると考えている。

- 箱型のごみ箱を利用者で購入し使用しているが、1年間その場に置いたままになるか。

→ 既存のステーションに設置されているごみ箱等は、地域の皆さまで管理していただきたい。

- 自宅のその先に線路があり、その道をパッカー車が走行すると相当な音がするため、徒歩での収集を希望しているのだが、近隣の住宅が10軒ある場合、収集方法はどのように決まるか。

→ 原則はパッカー車で収集するが、道路状況等の事情に合わせて、軽自動車や徒歩で収集する。今後配布する案内の中に、私道等において通行等支障がある場合は、市に申し出ていただくよう案内をする予定であるため、改めてご連絡いただきたい。

● 戸別収集のメリットである「ステーションの清掃など維持管理の負担の軽減」「自宅の目の前にステーションがあることに対するストレスの軽減」というのは、燃やせるごみだけを収集するステーションが設置されている場合のみ感じられることであると思うが、そのようなステーションは設置されているか。

→ 地域の実情に応じて収集する品目は異なっており、燃やせるごみだけを収集するステーションは多くある。

● 燃やせるごみを収集してくださる職員の方は、カラスイケイケを畳んでいただけるため非常にありがたいと感じている。プラスチック製容器包装類を収集してくださる職員の方はそうではないのだが。

● 事業所の排出場所について、事業所ごとに排出場所を調整して、市に申請しなければならないか。

→ そのとおりである。

● 指定ごみ袋に合うポリバケツ等がないため、戸別収集を本格的に実施する場合は、市が推奨するポリバケツ等を紹介していただきたい。

● 地域柄、一人暮らし用の共同住宅が多く、ごみを朝出して夜帰ってくる方が多い。ポリバケツ等が風で飛ばされて問題が生じる可能性がある。

→ 今後配布する案内の中で、ポリバケツ等の中にペットボトルを重しとして使用する事例を紹介し、各自で風対策をしていただくよう案内する予定である。

● 行き止まり道路の先にある住宅を戸別収集する場合、時間や経費がかかると考える。

→ 時間や経費がかかってしまうが、戸別収集の影響や効果を検証するために各戸でごみを出していただきたい。

● 戸別収集を実施すると、人件費や車両に関する経費がかさむと考える。戸別収集を実施した場合にどのくらい経費がかかるか。

→ 全市域で燃やせるごみを戸別収集した場合、約4億円かかると積算している。

● 戸別収集を実施することによる新たに生じる経費は、市民に税金として跳ね返ってくるため、市民はそういった認識を持つべきである。今回は社会実験という形で戸別収集を実施するが、財源などを考えると、慎重に検討していただきたい。

→ 現状の収集方法で問題がなく行えていれば、戸別収集の実施を検討する必要がないと思われるが、そういった状況にはないため検討している。ただ、戸別収集を実

施する場合、多額の費用がかかるため、慎重に検討していかなければならないと考えている。

- 戸別収集を実施することで市民に利便さを提供することになると思うが、その一方で費用がかかるため、市は市民にごみ収集に関して協力させることも考えるべきである。まずは社会実験を通して、戸別収集の具合が良いところ悪いところを見極めていただきたい。

以上